

山形市PTA 連合会会報「PTA じゅひょう」第40号寄稿

－「つながり」の中で子どもたちを育む－

山形市PTA連合会並びに各単位PTA、そして、会員の保護者の皆様には、日頃より山形市の教育の充実と発展にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、学校内外において、子どもたちの豊かな成長と健全育成にご尽力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響により、この2年間中止を余儀なくされた活動も多くありましたが、今年度は関係各位のご尽力により、適切な感染対策のもと様々な事業及び活動を実施することが出来ました。特に、8月には本県において日本PTA全国研究大会山形大会が開催されました。大会スローガン「人とひとのつながりを体感しよう！～あがらっしゃい精神の山形から～」のもと、船橋大会実行委員長を中心に山形市PTA連合会が心を込めて準備・運営をしてくださいました。大会では、「つながり」を意識しながら、家庭教育や学校教育、地域連携、情報教育等について互いに学び合う研修が行われ、子どもたちの健全な育成を推進するための手がかりを明確にさせていただきました。我々大人の学びや意見の交流が社会全体で取り組む教育へと意識が広がり、子どもたちの豊かな成長に繋がることと確信をしております。

「つながり」を象徴するものとして「コミュニティ・スクール(以下C・S)」があります。C・Sとは、「地域学校協働活動」を通して、「地域とともにある学校づくり」を推進していくものです。山形市では今年度、市立の小中高等学校すべてに学校運営協議会が設置され、52校全てがC・Sとなりました。今後、学校と地域の「つながり」が更に強固なものとなり、子ども達の学びや成長を力強く後押ししてくれることを期待するとともに、地域と一体となって行われる豊かな活動が山形の未来を担う郷土愛に満ちた人財の育成に結び付いてくれることを心より願うところです。

結びになりますが、山形市PTA連合会及び保護者の皆様方におかれましても、様々なつながりのもとご活躍いただくとともに、山形市の教育に対する変わらぬご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

山形市教育委員会 教育長 金沢 智也